

【栄区】平成 31 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	平成 31 年 2 月 4 日（月） 14 時 30 分 ～ 16 時 00 分
場 所	栄区庁舎本館 4 階 1 号会議室
出席者	<p>【座 長】 興石 且子 議員</p> <p>【議 員：2 名】 石渡 由紀夫 議員、大桑 正貴 議員</p> <p>【栄区：23 名】 小山内 いづ美 区長、見上 正一 副区長、 前田 博之 福祉保健センター長、 小泉 信義 福祉保健センター担当部長、 鈴木 誠 土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	平成 31 年度個性ある区づくり推進費予算案について
発 言 の 要 旨	<p>大桑議員：居場所づくり推進事業について、旧ふれあいショップ「さんぼみち」のキッチンスペースの整備は少し古くなってしまったものをリニューアルするということか。また、コミュニティカフェとして利用するということだが、運営してくれる事業者の見込みはあるのか。</p> <p>雨堤区政推進課長：旧ふれあいショップ「さんぼみち」は、平成 27 年 5 月に閉店して以降、平成 28 年 4 月から指定管理者による管理運営が開始し、さんぼみちを活用した高島町の PR イベント等、様々なイベント等を行っている。今年度は、委託によりコミュニティカフェを試行的に実施した。31 年度に向けてコミュニティカフェの運営をしていただける事業者を 2 月から募集しており、直営で事業を担っていただける事業者の応募に期待している。</p> <p>大桑議員：直営でというのは応募してきた事業者が採算をとって実施していくということか。また、キッチンスペースは栄区が整備をして貸すということか。</p> <p>雨堤区政推進課長：実際のカフェの運営は公募要件にかなった事業者に</p>

運営してもらおうが、環境整備等については区で担っていく。
大桑議員：採算や事業者の応募状況等、また色々と教えていただきたい。

本郷台駅周辺のまちづくり推進について、旧南小菅ヶ谷住宅跡地開発や公共施設の再整備の完成を見据えて、駅からいたち川にかけての魅力づくりを行っていかうということか。また、いたち川魅力づくり事業の取組にある川床の設置は、どのくらいの期間設置する予定なのか。

雨堤区政推進課長：旧南小菅ヶ谷住宅跡地開発や公共施設の再編にあわせて、駅前からいたち川にかけての場所についても区民の方に親しんでいただけるように、しっかりと検討していきたい。

高橋土木事務所副所長：

川床については、京都の川床をイメージしている。常設は難しいが、栄区の竹を使用してイベントにあわせて臨時的に設置する。

大桑議員：イベント実施日だけ設置するのか。

高橋土木事務所副所長：

毎年1日のみのイベントなので、その前後を含めて2日間程度設置することを予定している。

大桑議員：もしイベントの前後も設置するとなると、安全面に配慮して危険がないようにしていただきたい。

栄IC・JCT(仮称)周辺のまちづくりについて、サウンディング調査や地域との意見交換を行ってきている中で、今後何をつくるのかなど、イメージはできているのか。

雨堤区政推進課長：土木事務所が現在、資材置き場として使用している市有地も活用しながら何かできないか地元の町内会長らとは話をしている。周辺にコンビニエンスストアがないという実態もあるが、田谷にある企業との連携についてもこれから模索していきたい。具体的な取組については今後、土地利用の条件を整理していくとともに、道路整備の進捗も見ながらサウンディング調査を行い、事業者と話をしていきたい。

大桑議員：福祉避難所開設・運営円滑化事業について、段ボールベッド等の開設等訓練支援物資の配布とあるが、これは段ボールベ

ッドを各拠点に配っていくのか、それとも訓練の際に配るのか教えていただきたい。

角田高齢・障害支援課長：

段ボールベッドはかなり大きく、保管するにもかさばる上、湿気を含みやすく長期保存には向かないため、訓練用に配布して実際に組み立ててもらっている。また、市が東日本段ボール工業組合と協定を結んでいるため、発災時には一週間程度で供給ができるという仕組みになっている。

大桑議員：成人期の食育推進について、成人期とはどれくらいの年代の方を対象にしているのか。また、31年度予算額が前年度と比べて約4倍になっているが、食事見直しシートを10,000枚印刷するというので今回予算を増やしているのか。

林福祉保健課長：今年度は生活習慣病予防の講演会を実施し、特に高齢者の方に向けて、バランスよく食事をすることで健康長寿が保たれるという話をさせていただいた。非常に反響があったため、高齢期だけでなく成人期まで少し幅を広げ、自分の食事を見直すことができるようなシートを新しく作り、チェックしながらバランスよく食べることを生活の中に取り入れていただけるよう、地域ケアプラザや食生活等改善推進員とも連携しながら働きかけをしていきたい。予算額の増については、大きく事業内容が変わったことに伴い、シートの印刷費等、必要経費を計上している。

大桑議員：シートが出来上がったら見せていただきたい。

庁舎改善事業について、31年度実施する内容は決まっているのか。それとも要望を踏まえて実施していくのか。

井上総務課長：31年度は、窓口のあるフロアの照明LED化を予定しているが、もし必要なことがあればその都度検討し、対応していく。

大桑議員：1階をメインに実施するのか。それとも、2階や3階も実施するのか。

井上総務課長：必要なところから順に対応をしていく。

石渡議員：商店街にぎわい創生事業について、栄区は駅前以外にも商店がばらけているため、商店街マップを作成するだけで商店街の活性化につながるというのは難しいと思う。商店街それぞれ

れが魅力を持てるような取組を考える必要があると思う。商店街振興という点では、経済局が主体となって進めるべきこともあるが、栄区として商店街の魅力向上につながる取組についてどのように考えているのか。

早乙女地域振興課長：

商店街マップは今年度 4,000 部作成し、2,500 部を商店街や地区センター等区内公共施設に配布した。31 年度はこのマップを使って P R していく。新大船商店街で開催している朝市では、近隣の町内会から応援しようという動きが出ているので、ウインウインの関係で一緒に進めていけるよう支援したい。このようなことを大切にしていきたい。また、長沼商栄会でも 2 月 24 日に朝市を開催する。チラシは商店街の店舗の方がデザインしてくれた。このような新大船商店街や長沼商栄会の取組みが他の商店街に横に波及していくことを期待している。商店街は、本郷台駅前祭りやいたち川祭りにも出店しているので、円滑にいくように橋渡しをする等、粘り強くやっていきたい。

石渡議員：新大船商店街の朝市については、野菜等はすぐ売り切れているが、朝市だとお店の活性化につながらない業種もあるため、今後は例えば夕市の開催等、開催する時間帯も検討していただきたい。県の事業も入っているのか。

早乙女地域振興課長：

県の事業についても、3 か年ということで 31 年度まで実施している。近隣の町内会の方が一緒に参加しようという動きが出てきているので、県の事業が終わっても、地域とのつながりの中で継続でき、徐々に魅力アップにつながると思う。

石渡議員：郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進について、これまで「上郷東地区まちの再生・活性化委員会」で重ねてきた議論を助言としてまとめ、今年度中に区長に提出されると思うが、今後はどのように進めていくのか。

見上副区長：旧庄戸中学校の後利用や地域交通の問題等もあるため、連合町内会等と連携しながら、実現に向けて取り組んでいく。

石渡議員：地域からの期待が大きいので、ぜひ頑張ってください。

31 年度から地域交通サポート事業の内容が拡充し、ボランテ

ィアの運転手による運行が可能になる。例えば栄共済病院のバスを活用し、本郷台駅前を通り地域を巡回するようなことも検討して欲しい。また、田谷地区についても、湯快爽快のバスを正式に運行できれば、飯島方面の方のニーズにも応えることができると思うので検討していただきたい。これは意見として申し上げる。

本郷台駅周辺のまちづくり推進について、本郷地区センターの後利用はどこが所管でどのように進めていくのか。

雨堤区政推進課長：本郷地区センターの所管は市民局。施設の後利用については、栄区が中心となり事業者と対話をし、何ができるかということも含めて市民局と連携して進めていく。

石渡議員：今の建物を活用するのか、取り壊すのかまだ決まらないうちに事業者と対話を実施し、色々な提案をしてもらうことは後で問題にならないか。

雨堤区政推進課長：現時点では、建物については、取り壊さずにそのまま活用するというので事業者に提案していただこうとしている。本郷地区センターは栄消防署及び市営住宅と合築となっているため、実際に取り壊すという話になる場合は、関係所管局と調整する必要がある。

石渡議員：建物をそのまま活用するのか取り壊すのかは、いつどこが判断するのか。

雨堤区政推進課長：現時点ではそのまま活用するというので検討している。市営住宅の全市的な見直しや栄消防署の建替えの計画等もあると思うので、何年の何月までにというのはお答えしづらい状況にあるが、動きが見えてきたら機会を捉えて、改めて説明させていただきたい。

石渡議員：水害対策事業について、豊田高校跡地のグラウンドが使えなくなることで困っている人たちがいる。どこか代わりになる場所はないか。

早乙女地域振興課長：

あれだけの規模に代わる土地は現在区内にはないため、それぞれの団体に学校の校庭開放等に登録をしていただくしかない。豊田高校跡地については、30年度に地質調査を行い、31年度施工方法をJRと協議する。JRとの協議が整えば32年

度からの着工となると聞いている。

石渡議員：ブリヂストン跡地が期間限定でも使用できないか聞いていただきたい。

ラジオ放送事業について、地域の皆さんにラジオを購入してもらうためのキャンペーンなど、ラジオを普及させる取組を区で考えているか。

雨堤区政推進課長：ラジオだと電波の状況によっては栄区内でも聴けないところがある、と聞いている。そのため、現在のところ、ラジオ普及の取組は考えていないが、地域に出かけた時の機会を捉えて、エフエム戸塚のアプリを利用してスマートフォンで聴いていただけるよう、話はしている。

石渡議員：災害時にインターネットの基地局が駄目になれば、アプリが利用できなくなる。そのためにラジオ放送をしていると思うので、ラジオの購入についても啓発してほしい。

興石議員：以前から、円海山天園のハイキングコースを有効活用して栄のブランドづくりをするという話があったが、今回の予算で整備の予算が計上されていないが、現状について教えていただきたい。

小山内区長：天園についてはルートの整備や看板の設置等、年度内に一定の成果が出る予定。栄プールの件や老人福祉センターについては将来に向けて一体的に検討する必要があると思っており、都市計画マスタープランには記載している。

興石議員：都市計画マスタープランに反映されていくということか。

小山内区長：今、市民意見募集が終わったところだが、反映する方向で検討している。

興石議員：バスルート等の区民の移動手段とも深く関係しているため、個別ではなく区が中心となって一体的に進めていく必要がある。そのためには、例えば区提案反映制度に盛り込んでいくということも必要だと思うが、どのように考えているか。

小山内区長：まちづくりについては、都市整備局と連携し、全体をどのように調整していくべきか方向性を出したいと思っている。

興石議員：栄プールは今後、ボイラーが故障したら閉鎖すると常任委員会で説明を受けている。方向性が出るということは、プールを閉鎖するということになると思うが、どのように考えてい

るのか。

小山内区長：栄プールの閉鎖方針は既に決定事項であるが、老人福祉センターを含め、地域の方の意見を聞き、民間事業者の力も借りながら魅力的な施設にしていきたい。

興石議員：その意見はどの場面で言っていくのか。区提案反映制度として出していくべきだと思う。

小山内区長：来年度に向けてしっかりと進めていく。

興石議員：政策的な事業はしっかりと継承していかないと先に進まない。区から提案していく必要があるが、どの場面で提案していくのか。

小山内区長：まずは市がこの事業をどのように受け止めていくかについて、事前の調整が必要になるため、都市整備局等にしっかりと方向づけをしてもらえるように働きかけをしていく。

興石議員：旧庄戸中学校跡地利用について、経団連との関係はその後どうなっているのか。また、民間事業者の提案を受けてということだが、31年度予算に費用は計上しているのか。

見上副区長：旧庄戸中学校跡地利用については、31年度にサウンディング調査をする予定になっており、その予算を計上している。経団連とは政策局を通して情報提供や意見交換を行っている。

雨堤区政推進課長：地元との調整は栄区が中心となって行っていくが、経団連については、従前より政策局が窓口になっている。31年度はサウンディング調査を予定しているため、経団連傘下企業とも意見交換ができればと思っている。

興石議員：相手が企業だと、スピード感が行政のサイクルと異なる場合もあると思う。それを補完するためにも、リビングラボのような手法を使うことを以前から提案している。政策局と連携して何かするというのも見えてこないが、区長の思いを反映する仕組みやタイミングはあるのか。

小山内区長：上郷東地区のまちづくりについては、3月までに助言としていただくことになっている。それまでは連合町内会やまちづくりの関係者と一緒に専門家の意見も聞きながら話をしていきたいと思っている。

興石議員：防災力向上事業について、ハザードマップを活用して危険箇

所の周知をするということだが、隣接エリアの柏尾川や神奈川県全体の情報は栄区のハザードマップに載っていない。例えば、危険エリアと言われている大船駅北第二地区の裏手になるようなところは地図上表記がないが、次回ハザードマップを更新する際には情報を反映させていただきたい。ハザードマップの次の更新はいつか。

見上副区長：来年の2月頃を予定している。

興石議員：栄区は他市と隣接しているという特徴があるので、柏尾川のように遡上の危険性がある箇所については、マップを更新する際にしっかり反映させて欲しい。

井上総務課長：道路局がどこまで市外分のデータを入れ込むかという問題はありますが、できる限り反映できるよう調整していく。

興石議員：本郷台駅周辺のまちづくりについて、市営住宅とURとを分けて考えているが、縦割りにせず議論する必要がある。その意味で広く区民を巻き込んだプラットフォームのようなもの今回想定しているか。地区計画全体で進めていくのであれば、地域の声を聴くこととあわせて、URや市営住宅の権限を持っている人も参加してほしいと思うがどうか。

雨堤区政推進長：地域の方との話し合いの場というのは今のところ考えていないが、旧南小菅ヶ谷住宅跡地に公共施設が再整備されていくため、本郷地区センターの後利用も含めて31年度はしっかりと考えていく必要があると思っている。

興石議員：ペット防災対策事業について、予算を拡充していただき感謝している。

パラフェスタ♥さかえについて、さかえ egao プロジェクトの方がパラフェスタより先行してイベントを開催してきた実績がある。今年度はパラフェスタがタイアップするという形で実施したが、31年度はどのように実施していく予定か教えていただきたい。

角田高齢・障害支援課長：

31年度についてはまだ調整中のため、どことどのように実施するかというのはこれから検討していく。さかえ egao プロジェクトは、今までご自身たちで積み上げてきたものがあるので、区と一緒に実施することがいいのかということも含めて

	<p>話し合いをしている。31年度に向けてはまだその話し合いをしていないので、今は何も決まっていない状況。</p> <p>興石議員：どのタイミングで決まるのか。31年度予算にも影響してくるのではないか。</p> <p>角田高齢・障害支援課長：</p> <p>31年度予算については、区で委託をする費用等、必要経費のみ計上しており、さかえ egao プロジェクトに関する経費は含まれていない。なお、さかえ egao プロジェクトは自助努力で助成金等をとっているため、一緒に実施するという事になった場合も、費用は発生しない。</p> <p>興石議員：ぜひ寄り添って実施していただきたい。</p> <p>最後に、会議報告書の作成についてだが、座長に一任させていただいてよろしいか。</p> <p>石渡議員・大桑議員：了承。</p>
備 考	